

第18回造血器腫瘍研究会プログラム

兼、がん研究開発費「がん幹細胞に対する新規分子標的治療薬の開発を目指した基盤研究」班会議

日時：2014年2月7日（金）10時～18時20分

会場：（公財）がん研究会がん研究所吉田富三記念講堂

2月7日（金）

9:30～ 受付

10:00 はじめに 中村 卓郎（がん研究所）

造血 座長 岩間 厚志（千葉大学）、平尾 敦（金沢大学）

10:05 造血幹細胞活性を制御するGemininの可視化と発現操作

瀧原 義宏（広島大学原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学）

10:20 PRC2の構成因子EEDは成体造血幹細胞の維持に必須の役割を果たす

池田 健一郎（広島大学原爆放射線医科学研究所・疾患モデル解析分野）

10:30 WDR68は造血幹細胞の長期維持に必須である

安達 未羽、勝本 拓夫、島 豊、北林 一生

（国立がん研究センター研究所・造血器腫瘍）

10:40 AF10欠損が引き起こす造血系の異常の発見

小河 穂波¹、鈴木 麻衣²、相川 祐規子²、山形 和恒²、北林 一生²

渡邊 利雄¹

（¹奈良女子大学大学院、²国立がん研究センター研究所）

10:50 ヒストン脱メチル化酵素JMJD3の造血系に着目した機能解析

中田 雄一郎（広島大学原爆放射線医科学研究所・疾患モデル解析分野）

11:00 単球造血におけるC/EBP β の機能解析

平位 秀世、田村 彰広、横田 明日美、佐藤 淳至、岩佐 磨佐紀、

三浦 康生、前川 平（京都大学・輸血細胞治療部）

休憩（11:10～11:25）

ゲノム解析、新技術 座長 横山 明彦 (京都大学)

11:25 Identification of microRNAs targeting Evi-1

山本 春菜 (東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学)

11:35 次世代シーケンサーを用いた小児急性骨髄性白血病における網羅的
遺伝子プロファイルの解明

柴 徳生¹、林 泰秀²、小川 誠司³

(¹群馬大学小児科、²群馬県立小児医療センター、³京都大学腫瘍生物学)

11:50 非ダウン症の急性巨核芽球性白血病における融合遺伝子解析

原 勇介¹、林 泰秀² (¹群馬大学小児科、²群馬県立小児医療センター)

12:00 次世代シーケンサーによるヒドロキシメチルシトシンの定量

松井 啓隆、金井 昭教、稲葉 俊哉

(広島大学原爆放射線医科学研究所・がん分子病態研究分野)

昼食 (12:10~13:10)

分子機構の解析 座長 本田 浩章 (広島大学)、中島 秀明 (慶應大学)

13:10 MLL関連タンパクによる転写活性化機構

横山 明彦 (京都大学医学研究科)

13:25 急性骨髄性白血病におけるAF10の役割

山形 和恒、齋藤 眞理子、鈴木 麻衣、相川 祐規子、小河 穂波¹、
渡邊 利雄¹、北林 一生 (国立がん研究センター、¹奈良女子大学)

13:40 Meis1標的遺伝子Syt11の機能解析

中村 卓郎、横山 隆志 (がん研究所発がん研究部)

13:55 NDRG2はPP2AリクルーターとしてPTEN及びNIK活性調節に関わる

市川 朝永 (宮崎大学・機能制御学講座・腫瘍生化学分野)

14:10 転写因子IRF8は慢性骨髄性白血病においてBCR-ABLによる樹状細胞
分化不全を救済する

田村 智彦 (横浜市立大学大学院医学研究科・免疫学)

14:25 急性骨髄性白血病におけるDNMT3A変異の機能的解析

古屋 淳史 (東京大学・血液腫瘍内科)

14:40 mTORC1活性化分子Rhebの正常造血と白血病発症における役割

笠田 篤郎 (金沢大学がん進展制御研究所・遺伝子染色体構築研究分野)

14:55 白血病における脂肪酸合成酵素FASNの役割

島 豊、北林 一生 (国立がん研究センター研究所・造血器腫瘍)

休憩 (15:10~15:30)

白血病発症機構 座長 野阪 哲哉 (三重大学)、中村 卓郎 (がん研)

15:30 Dominant negative EZH2を用いたマウス骨髄移植モデルの検討

川畑 公人 (東京大学医科学研究所・細胞療法分野)

15:40 JAK2/Ezh2変異による骨髄線維症の病態解析

指田 吾郎 (千葉大学大学院医学研究院・細胞分子医学)

15:55 造血器腫瘍発症における疾患関連EED変異体の機能解析

上田 健 (広島大学原爆放射線医科学研究所・疾患モデル解析分野)

16:05 造血機構維持および白血病発症におけるヒストン脱メチル化酵素UTXの機能解析

本田 浩章 (広島大学原爆放射線医科学研究所・疾患モデル解析分野)

16:25 PLZFによる造血幹細胞がん化の分子機構

小埜 良一、野阪 哲哉 (三重大学大学院医学系研究科・分子遺伝学分野)

16:40 GATA2遺伝子エンハンサーがinv(3)(q21;q26)においてEVI1遺伝子を活性化し白血病を誘発する

鈴木 未来子、山寄 博未、大槻 晃史、清水 律子、Emery H. Bresnick、James Douglas Engel、山本 雅之 (東北大学大学院医学系研究科)

17:00 GATA2変異によるMonoMAC症候群/MDSの発症機序解明

原田 浩徳 (順天堂大学血液内科)

臨床病態と新規治療法 座長 北林 一生 (国立がん研究センター)

17:15 家族性血小板異常症の病態解明

吉見 昭秀 (東京大学・血液腫瘍内科)

17:30 SEPT9-ABL1融合遺伝子による白血病発症機構と治療反応性

松下 弘道、川井 英嗣、安藤 潔 (東海大学医学部・血液腫瘍内科)

17:40 異種移植モデル由来リンパ腫細胞を用いた癌微小環境を反映した薬剤スクリーニングシステムの開発

早川 文彦 (名古屋大学・血液腫瘍内科)

18:00 T細胞性リンパ腫のクローン進化

坂田 麻美子 (筑波大学医学医療系・血液内科)

18:15 終わりに (次回幹事) 北林 一生 (国立がん研究センター)

18:30～ 懇親会

会場：がん研究所1階ホワイエ